



## 暮らしを守る私たちの足 地域に根付いた 公共交通を目指して

### より便利で効率的なバスにする ための取り組み

本市は広大な面積を有し、標高差も大きいため、自家用車や公共交通による移動に頼らざるを得ません。また、冬期は積雪により徒歩や自転車での移動が困難であることが多く、移動制約者（自力で移動できる者のうち、自分自身が自由に使える交通手段を持たない者）にとっては公共交通が必要不可欠な地域といえます。

このため、市民が通勤、通学、通院、買物ができるなど最低限の「生活環境の質」を確保するため、交通事業者等との連携により地域公共交通を整備しています。

また、公共交通を将来に渡って持続可能とするため、観光客も含めた利用促進を図るほか、利便性向

上等に向けた見直し、関係機関との協働によるイベント等により啓発に取り組んでいます。

### バスの利用状況

平成28年度ののらマイカー、まちなみバスの利用者数は、約16万人で、前年度比較では約5千人の減少となりました。減少した理由は、主に通学や通園の利用者の減少による影響によるものです。また、平成28年度の1便あたりの平均利用者数は約4.0人で、うち高山地域は6.8人、全支所地域の平均は1.6人となっており、いずれも減少となっています。

また、バスの運行については、約2億2千万円の経費がかかっています。

公共交通は市民の皆様の利用によって維持されます。ぜひ、積極的な利用をお願いします。

### 公共交通の役割とは

バス、鉄道、タクシーなどの公共交通は、私たちの「生活の足」として大きな役割を果たしています。みんなで利用し、守り育てましょう。公共交通には、次のような役割や効果があります。

- 高齢者や学生など自動車の運転ができない人にとって重要な移動手段です。
- マイカーの代わりに利用することで走行車両が減り二酸化炭素排出量も減少します。
- 観光客の観光エリアや散策ルートが広がります。
- マイカーの購入や維持管理費と比較すると経済的にもお得です。
- 自身の体調が悪い時なども安全に移動できます。
- 老若男女が笑顔でふれあうことができる空間です。
- 子どもたちは公共交通の利用方法や社会のマナーを学ぶことができます。

### 平成25年度～平成28年度の利用実績

| 区分     | 平成25年度～平成28年度の利用実績 |            |         |            |         |            |         |            | 対前年比増減 |            |      |
|--------|--------------------|------------|---------|------------|---------|------------|---------|------------|--------|------------|------|
|        | H25                |            | H26     |            | H27     |            | H28     |            | 年間利用者  | 1便あたり平均利用者 |      |
|        | 年間利用者              | 1便あたり平均利用者 | 年間利用者   | 1便あたり平均利用者 | 年間利用者   | 1便あたり平均利用者 | 年間利用者   | 1便あたり平均利用者 |        |            |      |
| まちなみバス | 37,685             | 5.3        | 37,060  | 5.3        | 37,593  | 5.3        | 38,235  | 5.4        | 642    | 0.1        |      |
| のらマイカー | 高山                 | 93,722     | 8.2     | 89,939     | 8.0     | 89,422     | 7.9     | 87,275     | 7.7    | -2,147     | -0.2 |
|        | 丹生川                | 6,343      | 2.3     | 5,488      | 2.0     | 4,910      | 1.8     | 4,953      | 1.8    | 43         | 0.0  |
|        | 清見                 | 10,905     | 2.5     | 9,258      | 2.1     | 11,735     | 2.7     | 9,475      | 2.2    | -2,260     | -0.5 |
|        | 荘川                 | 5,121      | 2.6     | 4,828      | 2.5     | 4,923      | 2.5     | 4,652      | 2.7    | -271       | 0.2  |
|        | 一之宮                | 574        | 1.9     | 612        | 1.7     | 460        | 1.8     | 646        | 1.7    | 186        | -0.1 |
|        | 久々野                | 7,087      | 1.4     | 7,204      | 1.4     | 6,767      | 1.3     | 5,511      | 0.9    | -1,256     | -0.4 |
|        | 朝日                 | 894        | 2.0     | 227        | 1.5     | 190        | 1.4     | 172        | 1.3    | -18        | -0.1 |
|        | 高根                 | 3,800      | 1.3     | 3,556      | 1.3     | 3,335      | 1.2     | 3,185      | 1.1    | -150       | -0.1 |
|        | 国府                 | 4,568      | 1.5     | 4,326      | 1.5     | 4,068      | 1.4     | 4,402      | 1.5    | 334        | 0.1  |
|        | 上宝                 | 1,517      | 1.0     | 1,565      | 1.1     | 1,570      | 2.0     | 1,637      | 3.3    | 67         | 1.3  |
| 合計     | 172,216            | 4.2        | 164,063 | 4.1        | 164,973 | 4.2        | 160,143 | 4.0        | -4,830 | -0.2       |      |

### 高齢化に伴う公共交通の必要性

高齢化の進展に伴い、移動制約者の増加も予測されるため、公共交通の必要性は今後ますます高まると考えられます。

近年では、高齢ドライバーが主な原因者となる交通事故の割合が増加していることから、高齢者の運転免許証の自主返納が注目されています。自主返納者を対象としたサービスも活用いただき、安全・安心な公共交通の利用をご検討ください。